

ネイティブ牛ホスホジエステラーゼ 3',5'-シクロ酸ヌクレオチド活性化因子欠損

Cat. No. NATE-0514

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 サイクリックヌクレオチドリン酸 (cAMPやcGMPなど) の3',5'-ホスホジエステル結合を加水分解し、 $\square\square$ するヌクレオチド5'-リン酸に \square 換します。

用途 環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼは、カルモジュリンおよびCa²⁺の機能としての活性化メカニズムについて調 \square されています。また、環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼの活性化因子へのトリフルオペラジンの結合が活性を10倍以上 \square 加させることを示す研究にも使用されました。カルモジュリン (P 0270) アッセイでの使用のため。カルモジュリンが存在しない場合、活性は50%未満 \square に低下します。

別名 サイクリック3',5'-モノヌクレオチドホスホジエステラーゼ; PDE; サイクリック3',5'-ヌクレオチドホスホジエステラーゼ; サイクリック3',5'-ホスホジエステラーゼ; 3',5'-ヌクレオチドホスホジエステラーゼ; 3':5'-サイクリックヌクレオチド5'-ヌクレオチドヒドロラーゼ; 3',5'-シクロヌクレオチドホスホジエステラーゼ; サイクリックヌクレオチドホスホジエステラーゼ; 3', 5'-サイクリックヌクレオシドモノリン酸ホスホジエステラーゼ; 3':5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ (サイクリックCMP); シチジン3':5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ (サイクリックCMP); サイクリック3',5'-ヌクレオチドモノリン酸ホスホジエステラーゼ; ヌクレオシド3',5'-サイクリックリン酸ジエステラーゼ; ヌクレオシド-3',5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ; EC 3.1.4.17

製品情報

種	ウシ
由来	牛の心臓
形態	凍結乾燥粉末 (イミダゾールバッファー塩と硫酸マグネシウムを含む)
EC番号	EC 3.1.4.17
CAS登録番号	9040-59-9
分子量	mol wt ~60 kDa
活性	>0.1 ユニット/mg タンパク質 (活性化剤追加)
緩衝液	50%グリセロールで再構成してください。酵素の総活性単位は、-0°Cで保存した場合、少なくとも5日間は一定に保たれます。ただし、活性化因子欠乏活性は最大200%まで \square 加する可能性があります。4°Cで保存した場合、活性化された活性と活性化因子欠乏活性の両方が、24時間で約30%減少する可能性があります。
機能	カルシウムおよびカルモジュリン調節の3',5'-サイクリックGMPホスホジエステラーゼ活性; カルモジュリン依存性サイクリックヌクレオチドホスホジエステラーゼ活性; タンパク質結合
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、30°Cで1分あたり1.0 μ moleの3':5',-サイクリックAMPを5'-AMPに加水分解します。

使用法とパッケージング

包装 アクティブユニットに基づくパッケージサイズ

